



こどもクリニックニュース

NO. 240 令和2年1月4日発行
ともながこどもクリニック



今年もよろしくお祈りします。

院長の予定 (2020年2月まで)

1月	8日	(水)	3・9ヶ月健診	大利根・保健センター
	16日	(木)	検診	スピカレディースC
	22日	(水)	1才半健診	加須・保健センター
	27日	(月)	3才健診	騎西・保健センター
	29日	(水)	9ヶ月健診	加須・保健センター
2月	17日	(月)	3才健診	加須・保健センター
	20日	(木)	検診	スピカレディースC

これらの日は午前の受付を12:00前に締め切ることがあります。また午後の診療開始時間が多少遅れることがあります。

休診の予定

3月末まで、臨時的休診予定はありません。

小児科休日診療の当番

令和2年1月5日までの当番一覧です。加須市では、11月～3月は元日を除くすべての日曜・祝日に、4月～10月は祝日に小児科休日診療を行っています。

2020年(令和2年)

月	日	曜日	当番医
1月	5日	(日)	ともながこどもC
	12日	(日)	つのだ小児科医院
	13日	(月)	中田病院
	19日	(日)	福島小児科医院
	26日	(日)	加藤こどもC

月	日	曜日	当番医
2月	2日	(日)	福島小児科医院
	9日	(日)	ともながこどもC

※診療時間は9:00～12:00です。

当番は変わることがありますので、ご利用の際は加須市の広報誌やホームページで最新情報をご確認ください。

感染症の情報

インフルエンザの報告数は、12月に入ってからぐんぐん増加しています。埼玉県全体で増えています。年末年始の休みの影響で一時的に小康状態になると推測しますが、新学期の始まりとともに再度増加していく可能性が高いです。

その他溶連菌感染症や胃腸炎の報告数も多く、水痘もやや多くなっています。またこの時期にはプール熱や手足口病の報告数も多いです。

いよいよ厳しい寒さと乾燥した日が増えてきました。体調管理に十分注意してください。

手洗いやマスクはすべての感染症の予防に有効です。



B型肝炎ワクチンの現状

昨年末からワクチンの供給量が増えてくる見込み、という話だったのですが、現実にはそれほど供給量が増えてきたという実感がありません。当院では引き続き、接種ご希望の方を「予約リスト」に登録し、ワクチンが確保できた時点でご連絡をさせていただきます。接種順番は単純に申し込み順ではなく、接種回数や生年月日に基づいて優先順位を決めていますのでどうかご了承願います。

<接種曜日についてのお願い>

現在流通しているB型肝炎ワクチンは、1本に0.5mlの注射液が入っていますが、これは成人の1回分に相当します。お子様(10歳未満)の1回接種量は0.25mlですので1本のワクチンでお子様2名に接種できます。ただし一人分の注射液を使った残りの液は、24時間以内に使用しなければならず、それ以上経過したら捨てなければならない決まりです。そこで不足しているワクチンの無駄を少しでも減らすため、当分の間は接種する曜日を木・金・土曜日に限定することにしました。どうかご理解とご協力をお願い申し上げます。

なおB型肝炎ワクチンの在庫は医療機関によっても差があるようです。お急ぎの方は複数の医療機関にお問い合わせしてみることをお勧めします。



夜間や休日の急病対策/電話相談

#7119・・・# 7 (何でも) 119番!

北川辺地域では 048-824-4199へ

小児の救急電話相談(#8000)、成人の救急電話相談(#7000)、そして埼玉県救急医療情報案内を一つにまとめた相談ダイヤルです。

これさえ覚えておけば、こどもから大人まで、全ての方の医療相談や医療機関の案内まで対応してくれますので便利です。

こどもの救急(日本小児科学会)

診療時間外に医療機関を受診したほうが良いかどうかの判断の目安をホームページで提供しています。

<http://kodomo-qc.jp/>



インフルエンザ治療薬「ゾフルーザ」

昨シーズンに発売されたインフルエンザ治療薬ゾフルーザですが、1シーズン使用した後の調査の結果「薬剤耐性ウイルス」が高頻度で出現することが判明したとのこと。インフルエンザの型(A、B)や年齢によっても耐性ウイルスの出現率に違いがあるようですが、小児は成人よりも出現率がとても高いようです。そのため日本感染症学会は「12歳未満の小児へのゾフルーザの使用は推奨しない。」という提言を出しました。報道によれば日本小児科学会も同様の提言をしたそうです。成人の方でも、1割程度の頻度で耐性ウイルスが出てくるそうですので、成人への使用も控えておいたほうが良さそうです。

インフルエンザの治療はタミフルやリレンザ、イナビルといった従来から使っていた薬で十分対応できますので、今後当院では、原則としてゾフルーザの処方はいらないことといたします。

※ゾフルーザ耐性ウイルスとは・・・

ゾフルーザが効かないインフルエンザウイルスです。したがって高熱や咳・鼻水などのインフルエンザ症状が長引きますし、周囲の方への感染力も強いまです。

検査でインフルエンザかどうかは区別できますが、耐性ウイルスかどうかは分かりません。だから最初から使わないほうがベストだという考えは正しいと思います。

今年のスギ花粉量は？

現時点での予想は昨シーズンのおおよそ半分程度ということ。花粉症の方には朗報ですね。ただし少ないとはいっても飛散するのは間違いありませんので対策は必要です。

当院のホームページ

<http://tomonaga-kodomoc.jp>



ともなが
こどもクリニック

加須市下高柳 1633-1

TEL 0480-66-4150